

令和2年度シラバス

作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態		担当教員名			
作業療法特論Ⅱ		講義		石橋 保子			
時間数 (単位数)		授業回数		年次		開講時期	
60 時間 (2 単位)		30 回		2 年次		通年	
授業の目的・概要							
<p>観察実習(2年夏)や評価実習(2年冬)に向けて、実習で必要となる知識や態度の習得を目指す。また観察・評価実習では学んだことを自身で復習し、翌日の実習に臨むといった自己学習が求められるため、その自己学習の仕方を学ぶ。具体的には老人保健施設や福祉施設での実習を通じて、対象者の動作や生活への理解を深め、また自身の対象者への関わりに対する振り返りを行う。他には事例学習やグループ学習を行う。</p>							
授業の到達目標							
<p>1. 観察、経験した事例を客観的に記録できる。 2. グループ学習や事例学習において対象者の能力障害と機能障害のつながりが説明できる。 3. グループ学習や事例学習において治療プログラムと疾患の特徴との関連が説明できる。 4. ポートフォリオで、半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、妥当な目標を再設定することができる。 5. ポートフォリオで自身の学習課題を発見し、自己学習が行える。</p>							
授業計画							
回		内容					
1	前期オリエンテーション	16	後期オリエンテーション				
2	老人保健施設実習の準備①	17	検査バッテリーの知識の整理				
3	老人保健施設実習①	18	検査バッテリーの知識の整理 (ノート提出有り)				
4	福祉施設実習の準備①	19	検査の実技練習				
5	福祉施設実習①	20	検査の実技練習 (セオリー通りできるかどうか?)				
6	福祉施設実習②	21	実技試験				
7	実習発表①	22	検査バッテリー小テスト (筆記試験)				
8	グループ学習①	23	学習の振り返り面談				
9	グループ学習②	24	事例学習 (文献抄読) もしくは動画を使って何か				
10	グループ学習③	25	事例学習 (ICF作成)				
11	グループ学習④	26	事例学習 (知識の整理)				
12	事例学習①	27	事例学習 (発表 7分)				
13	事例学習②	28	事例学習 (発表 7分)				
14	事例学習③	29	事例学習の小テスト				
15	実習後振り返り面談・ポートフォリオ面接	30	学習の振り返り面談				
成績の評価法と基準							
種別		割合		評価基準・その他備考			
定期試験							
レポート		20%		学習の振り返り			
小テスト		50%		検査バッテリー、事例学習			
平常点		30%		事例学習への取り組み (毎時間報告してもらう)			
その他							
自由記載							
教科書							
書名		著者・編集者名			出版社名		
自由記載							
参考文献							
書名		著者・編集者名			出版社名		
自由記載							
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・時間中に順番に2~3人のグループに分かれ「いきいきの郷」「愛生園」「友生園」での実習を実施する。 ・授業予定は前後したり変更することがある。変更があれば事前に通知する。 							